

平成 31 年度
(令和元年度)
「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立九条北小学校

令和元年 1 1 月

大阪市立九条北小学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

◎学校教育目標

人間性豊かで 実践力のある児童の育成をめざす。

(校訓)

・よく考える子(知) 　・すなおな子(徳) 　・がんばる子(体)

知・徳・体のバランスのとれた未来を切り拓く「生きる力」を育成する。

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 平成 30 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的回答の割合は 76 %で、目標数値を 4 ポイント下回った。いじめ・暴力行為のない学校、安心・安全な学校であってこそ、児童の多くは学校に行くのは楽しいと感じることができると考えれば、肯定的回答の割合を一層上げていく必要がある。また、平成 30 年度より本格実施した「九条北小安心ルール」の積極的な活用を図ることによって、児童の規範意識をより一層高めていくことが課題となる。
- 更に、安心・安全な学校づくりのために、互いの良さや違いを認め合ったり、助け合ったりする仲間づくりの取り組みを教育活動全体の場で行うとともに、道徳・人権教育の充実を図り、あらゆる場を通して「相手の気持ちを考える」意識を高められるように継続した指導に努める。
- 全国学力・学習状況調査および小学校学力経年調査において一定の成果が見られたので、前年度より学校全体で取り組んできた家庭学習の習慣化や朝学習・パワーアップタイムなどの短時間学習を一層充実させていく。
- タブレットの導入に伴い、デジタル教科書や書画カメラ等の ICT 機器を活用して、児童の興味・関心を高め、児童の主体的な学びを実現していくことが今日的課題となっている。本校では、ICT 活用率が高いことから、前年度「学校情報化優良校」に認定された。児童がわかる喜び、学ぶ楽しさを実感できるよう、全教員の授業研究などで授業力の向上に努め、「主体的・対話的で深い学び」につながるような授業改善を図っていく。
- 外遊びを日常化するとともに、地域・学校の環境を最大限生かし、運動に親しむ児童の育成に長年取り組んできたので、平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目の肯定的回答が男女共に全国平均を上回ることができた。今後は、これまでの取り組みを継続させながら、「運動やスポーツをすることは好き」や「体育の授業は楽しい」と感じる児童を更に増やせるように努めていく。
- 健康的な生活習慣の基本である「手洗い・うがい・歯みがき」の習慣化に向けて長年取り組みを進めてきた結果、一定の成果をあげることはできているが、習慣化できていない一部の児童の固定化傾向が見られる。今後は、保健強調週間の内容を工夫するとともに、学期ごとにチェック項目をしづびり、重点的な取り組みを進める。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。
- 令和3年度末の校内調査（児童アンケート）における「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の小学校学力経年調査における総合平均正答率を大阪市の平均正答率より8ポイント向上させる。
- 令和3年度末の校内調査（児童アンケート）における「授業で自分の考えを書いたり、発表したりすることができた」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」「体育の授業は楽しいですか」の両項目について、肯定的回答の割合を男女共に全国平均より5ポイント向上させる。
- 令和3年度末の校内調査（児童アンケート）における「手洗い・うがい・歯みがきを進んでしている」の項目について、肯定的回答の割合を95%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 今年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的回答の割合を80%以上にする。
- ② 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」の項目について、肯定的回答の割合を88%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度と同程度にする。（前年度は、どの学年も0%）
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点（教育振興基本計画の成果指標）の向上に向けて、特に課題である握力・長座体前屈・反復横とびの平均の記録を男女共に大阪市の平均値を上回るようにする。

学校園の年度目標

- ① 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「学校の学習はわかりやすく楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。
- ② 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「ICTを活用した調べ学習の方法を身につけることができた」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。
- ③ 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的回答の割合を男女共に全国平均より3ポイント向上させる。
- ④ 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「給食前に手洗いをしている」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）にかかわって

○

学校園の年度目標にかかわって

○

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）にかかわって

○

学校園の年度目標にかかわって

○

| | |
|-----------------------|--------------------------|
| 評価基準 A : 目標を上回って達成した | B : 目標どおりに達成した |
| C : 取り組んだが目標を達成できなかった | D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 %以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85 %以上にする。 ○ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。 | B |
| <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 今年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的回答の割合を 80 %以上にする。 ② 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」の項目について、肯定的回答の割合を 88 %以上にする。 | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p>取組内容①【施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめ・問題行動、不登校・児童虐待等の実態把握に努めるとともに、全教職員間で情報の共有化を図る。 ○ 防災・減災教育の推進 ○ 安全教育の推進 | |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 児童理解実践交流会を定期的（年間 5 回）に実施し、情報の共有化に努める。 いじめアンケートを学期に 1 回実施し、実態把握に努める。 ◇ 地域合同防災訓練を区役所・消防署と連携して実施する。（年 1 回） 地震（津波）・火災・台風を想定した避難訓練を実施する。（年 3 回） | B |

- ◇ 全学年児童を対象に交通安全学習の実施（年2回）、高学年児童を対象に防犯教室・非行防止教室の実施。（年2回）

取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】

- ◎ 人権教育・道徳教育の推進
- ◎ キャリア教育の推進
- ◎ たて割組織を活用した特色ある児童会活動の推進

指標

- ◇ 全学年児童を対象に「言葉遣いアンケート」の実施。（年2回）、「言葉づかい週間」「思いやり月間」を設定し、全校児童で相手を思いやる気持ちを高める取り組みを実施する。
- ◇ 道徳教育年間指導計画の中に、言葉遣いに関する内容を組み入れる。毎学期、言葉遣いに関する指導を行う。
- ◇ 6年生児童を対象に、地域人材を活用した人権講話の実施とピースおおさか・大阪歴史博物館の見学。3年生児童を対象に福祉体験（車いす体験・アイマスク体験等）の実施。5年生児童を対象に、地域人材を活用した福祉に関する講話の実施。
- ◇ 3年生児童を対象に、地元の商店街やスーパーの見学。5年生児童を対象に、地域人材を活用した地域の町工場の見学と職業講話の実施。6年生児童を対象に、知的財産特別授業の実施。
- ◇ たて割班による「夏の集い」「全校オリエンテーリング」の実施。毎週金曜日に児童集会を実施。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容①】施策1について

- いじめアンケートや児童理解実践交流会、職員会議などで問題のある児童についての職員間の共有が図られている。
- 避難訓練を計画的に行えており、3学期には土曜授業を活用し引き渡し訓練を実施する。

【取組内容②】施策2について

- 「言葉遣いアンケート」を（4月・10月）に実施し実態に合わせた学級での取り組みを継続的に取り組んでいる。また、生活目標で「思いやり月間」（10月）を設定し学校全体で相手の気持ちを考えさせるような取り組みを行うことで、相手を思いやる気持ちを高めることができた。その結果、児童アンケート「相手の気持ちを考え、仲良く助け合っている」では、全校総平均が85%となった。
- 各学年のキャリア教育に関しては、地域の方々の協力のもと、計画通り実施されている。
- たてわり班活動による学校行事では、高学年が中心となり、話し合いから実施までスムーズに行うことができた。さらに今年は、運動会でもたてわり班で演技をするなど、交流する場が増え、学年の枠を超えて、相手を思いやり、励ましあい、協力する姿が多く見られた。

今後の改善点

【取組内容①】施策1

- 今後も地震や火事など、より具体的な場面を想定し、どうすべきかを考えさせながら避難訓練をおこなう。
- アンケートにより、いじめられたことがあると答える児童の数を少なくするために、取り組みを行う。
- 交通安全学習は、自分たちが暮らす校区内の危険ポイントを知ったり、校区内での遊び方や交通ルールを確認できたりするようにする。
- 火災等が発生したときの伝達ルートの再確認が必要。
- 集団下校時の引き取り訓練なども実施したい
- 今後も計画通り、進めていく。
- 子どもの実態について今後も情報の共有化を図る。
- 繙続的に児童の実態を把握する。
- 今年も大きな災害が起こったため、災害に対する意識が高まっていると考えられる。よって、今後も現実味のある避難訓練や防災学習をおこなっていく。
- 児童アンケート「廊下や階段を正しく歩き、安全に過ごしている」の項目で、肯定的解答を75%より高められるような取り組みを計画する。

【取組内容②】施策2

- 2回のアンケート結果を受け、各学級の実態に合わせた取り組みを継続して行い、今年は、3学期に再度、アンケートを実施する。
- 学年が上がるにつれて肯定的回答率が低い傾向にあるので、楽しい思い出とともに、高学年がやりがいを感じられるような掲示物の工夫をしていく。

大阪市立九条北小学校 平成31年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | |
|---------------------|------------------------|
| 評価基準 A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 | |
| 全市共通目標（小・中学校） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度と同程度にする。（前年度は、どの学年も0%） ○ 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。 ○ 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点（教育振興基本計画の成果指標）の向上に向けて、特に課題である握力・長座体前屈・反復横とびの平均の記録を男女共に大阪市の平均値を上回るようにする。 | B |
| 学校の年度目標 | |
| <ol style="list-style-type: none"> ① 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「学校の学習はわかりやすく楽しい」の項目について、肯定的回答の割合を85%以上にする。 ② 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「ICTを活用した調べ学習の方法を身につけることができた」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。 ③ 今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的回答の割合を男女共に全国平均より3ポイント向上させる。 ④ 今年度末の校内調査（児童アンケート）における「給食前に手洗いをしている」の項目について、肯定的回答の割合を90%以上にする。 | |

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
| <p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 基礎学力の向上を図るため、朝学習やパワーアップタイムなどで計算や漢字、音読や視写など内容を工夫して継続的に取り組む。 ◎ 家庭学習の習慣化。 ◎ 習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実を図る。 ◎ 体験活動を生かした学習内容を工夫する。 | B |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 中・高学年児童を対象に、市販のプリント教材（カラー版）を活用して、学習内容に対する興味・関心を高める。 ◇ 宿題の内容を全学年揃える。「めざせ漢字博士」の実施。 ◇ 学びサポーターの活用により、個に応じた指導を充実させる。 ◇ 4年生児童を対象に、大阪市立科学館の見学の実施。全学年児童を対象に、劇鑑賞会の実施。6年生児童による区スポーツ交歓会への参加。 | B |
| <p>取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 英語教育の推進 ◎ ICTを活用した教育の推進 | B |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ パワーアップタイムを設定し、全ての学年で短時間英語学習（10分）を週3回実施する。 ◇ 全ての学年・学級でICT機器を活用した授業実践を工夫する。 教員全員が年間1回以上の授業研究を行うとともに、全体研究授業を年間3回以上実施する。 ◇ プログラミング教育の推進。 | B |
| <p>取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 子どもの体力向上のための取組の充実。 ◎ 手洗いの徹底。 | B |
| <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 全ての学級で「みんな遊び」（外遊び）を工夫する。体力の向上につながるような集会活動（大縄跳び大会等）を工夫する。冬の時期に「かけ足朝会」を実施する。 ◇ 保健強調週間（学期に1回）の設定。給食前の手洗いチェックの実施。保健だよりや給食だよりの活用。 | B |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| <p>【取組内容①】施策5について</p> <p>○ どの学級も、朝学習やパワーアップタイムに、国語・算数を中心に継続して基礎基本の定着を図ることができている。また、家庭学習についても、内容を全校で統一したことでパターンが定着しており、基礎学力の向上に繋がっている。</p> <p>また、本年度は算数科の学習を中心に、より多くの単元で習熟度別少人数指導に取り組むことができており、個に応じたきめ細やかな指導を行うことができている。その結果、児童は学意欲をもって学習に取り組むことができている。</p> | |

【取組内容②】施策6について

- パワーアップタイムに英語の短時間学習を週3回、実施している。
- すべての学級・学年で、ICT機器を活用した授業実践を工夫している。
- 全体研究授業は、年間計画通りおこなわれている。

【取組内容③】施策7について

- それぞれの学級において、児童が主体になって遊びを考え、週1～2回程度のみんな遊びに取り組んでいる。しかし、児童アンケートの「休み時間は友達と運動場で遊んでいる」と回答した児童の割合は80%と、前年度の84%より下回る結果であった。厳しい残暑や行事等の忙しさが原因であるかと考えられる。
- 今年度は手洗いを中心に指導にあたっている。学級内での係活動で給食前の手洗いについてチェックしたり、保健指導で手洗いの大切さについて指導したりするなど、特に給食前の手洗いに重点をおいている。児童アンケートの結果は93%と、前年度の84%よりはるかに上回っている。

今後の改善点

【取組内容①】施策5

- 家庭での学習ができない児童の家庭学習の習慣化について考える必要がある。個別支援を希望する児童が増加傾向にあるため、支援体制の見直しや工夫をどうするかが課題として挙げられる。

【取組内容②】施策6

- 今後も外国語のデジタル教科書やDVD、絵本などを活用して、モジュール学習や英語学習をおこなっていく。
- 授業でタブレット端末やパソコンを活用する機会を、ひきつづき設定していく。ICT・タブレットの年間指導計画に沿って、各学年の達成目標スキルを確実に身につけることができるよう取り組んでいく。
- プログラミング教育に関しては、研修を通して教員のスキルアップを図り、効果的な指導法を探っていく。また、プログラミング用ロボットに触れる機会も積極的に設けていく。

【取組内容③】施策7

- 外で遊ぶのに適した気候になっているので、みんな遊びの時間だけでなく、「1日1回以上は運動場で遊ぼう」などの声掛けをしていく。また、冬の時期に向けて「かけ足朝会」や「なわとび集会」などに取り組む。
- 11月・1月の保健強調週間では、給食前の手洗いに限定して取り組む。環境健康委員会がカードの作成と放送を担当し、また、給食委員会が給食室前での手洗いチェックを担当するなど、児童が主体的に手洗いについて全校児童に呼びかけられるようにする。また、パーカクト賞など、称賛の場を工夫する。

○児童アンケート中間評価

質問項目

- 授業で自分の考えを書いたり、発表したりすることができた。
- 調べ学習の時に、何かを使って調べることができた。(高学年ICT)
- 学校の学習は、わかりやすく楽しい。
- 児童会の活動はいろいろと工夫して楽しい。
- 廊下や階段を正しく歩き、安全に過ごしている。
- 相手の気持ちを考え、なかよく助け合っている。
- 休み時間は、友だちと運動場で遊んでいる。
- 給食前の手あらいをしている。

質問項目

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1年1組 | 89 | 89 | 91 | 98 | 81 | 91 | 91 | 93 |
| 1年2組 | 98 | 97 | 93 | 100 | 80 | 90 | 100 | 89 |
| 平均 | 93.5 | 93 | 92 | 99 | 80.5 | 90.5 | 95.5 | 91 |
| 2年1組 | 80 | 72 | 89 | 94 | 75 | 74 | 80 | 93 |
| 2年2組 | | | | | | | | |
| 平均 | 80 | 72 | 89 | 94 | 75 | 74 | 80 | 93 |
| 低学年平均 | 86.75 | 82.5 | 90.5 | 96.5 | 77.75 | 82.25 | 87.75 | 92 |
| 3年1組 | 81 | 76 | 86 | 92 | 80 | 82 | 77 | 83 |
| 3年2組 | | | | | | | | |
| 平均 | 81 | 76 | 86 | 92 | 80 | 82 | 77 | 83 |
| 4年1組 | 84 | 90 | 86 | 89 | 73 | 92 | 77 | 97 |
| 4年2組 | | | | | | | | |
| 平均 | 84 | 90 | 86 | 89 | 73 | 92 | 77 | 97 |
| 中学年平均 | 82.5 | 83 | 86 | 90.5 | 76.5 | 87 | 77 | 90 |
| 5年1組 | 80 | 96 | 81 | 88 | 56 | 81 | 69 | 98 |
| 5年2組 | 79 | 88 | 86 | 83 | 66 | 85 | 65 | 99 |
| 平均 | 79.5 | 92 | 83.5 | 85.5 | 61 | 83 | 67 | 98.5 |
| 6年1組 | 82 | 87 | 84 | 85 | 80 | 88 | 86 | 98 |
| 6年2組 | | | | | | | | |
| 平均 | 82 | 87 | 84 | 85 | 80 | 88 | 86 | 98 |
| 高学年平均 | 80.75 | 89.5 | 83.75 | 85.25 | 70.5 | 85.5 | 76.5 | 98.25 |
| 総平均 | 83 | 85 | 87 | 91 | 75 | 85 | 80 | 93 |
| 評価基準 | B | B | A | A | B | B | B | A |

※参考データ

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 30最終 | 81 | 92 | 84 | 88 | 75 | 86 | 84 | 84 |
| 総平均 | B | A | B | A | B | A | B | B |
| 30中間 | 82 | 88 | 84 | 87 | 77 | 84 | 82 | 83 |
| 総平均 | B | A | B | A | B | B | B | B |